

募集要項

募集期間 令和8年4月1日(水)～7月31日(金)

受講期間 令和8年8月26日(水)～12月8日(火)

場所 AP秋葉原 他

募集定員 10社(1社2名まで受講可能)
※応募者多数の場合、ご受講頂けない場合があります。

受講料 50,000円(税込み) / 1社
(2名まで受講可能)

受講対象

- 中小サービス業(非製造業)の経営者・店長・エリアマネージャー
- 現場改善や人手不足に課題を感じている管理者
- 属人化・紙・電話・口頭依存から脱却したい現場リーダー
- 生成AIを実務で“使ってみよう”企画・総務担当
- 採用に頼らず生産性を高めたい小規模事業者・個人店経営者

※人材採用・労働紛争など“人事・労務”に特化した課題解決を主たる目的とする方や体系的なDX研修を求める方は対象外となります。
※募集についての詳しい内容はHPでもご案内させていただきます。
※生成AIアカウントとGoogle Workspaceは有償無償を問いません。

受講者事前準備

- PC(WIN11以上を搭載)のご用意
- 生成AI(Gemini/ChatGPT)へのアカウントの登録
- Google Workspaceへのアカウントの登録

※全体の出席率が8割に満たない場合、修了証を発行できないことがあります。



申込み・受講の流れ

1 お申込み・受付

QRコードもしくはURLよりHPにアクセスいただき、申請フォームよりご応募ください。

URL: https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/genbakaizen_suishin/school.html

【申込締切】
7月31日(金)

申請フォームでは下記項目についてご記載ください。

受講予定の方へ

- 生産性向上における自社の課題(お困りごと)
- 課題に対する対策(実施済み、予定等)
- スクールで学びたいこと、意気込み

経営層の方へ

- 受講予定者の推薦理由と期待する成果

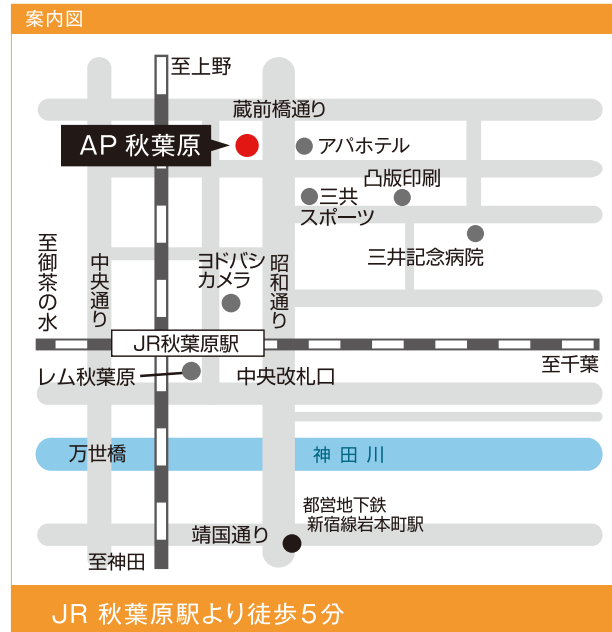
2 受講決定 / 受講料振込

受講が決定された方には、決定通知をお送りします。決定通知後、開講日までに指定する口座へ受講料をお振り込みください。

3 開講～終了

受講期間は令和7年8月26日(水)～12月8日(火)です。上記の期間中、8割以上出席した方に修了証を授与します。

※全体の出席率が8割に満たない場合、修了証を発行できないことがあります。



第5期
東京都サービス生産性革新スクール

募集期間 2026年 4/1(水)～7/31(金)

受講期間 2026年 8/26(水)～12/8(金)

「忙しいのに…」で「儲からない」を卒業!

全11回
+
個別支援付

生成AI伴走型 実践ワークショッププログラム

あらゆる
商業・サービス業
のための
スクールです。

I got the answer.



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 生産性向上支援課

TEL: 03-3251-7917

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F

[E-mail] seisansei@tokyo-kosha.or.jp

[ホームページ] <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

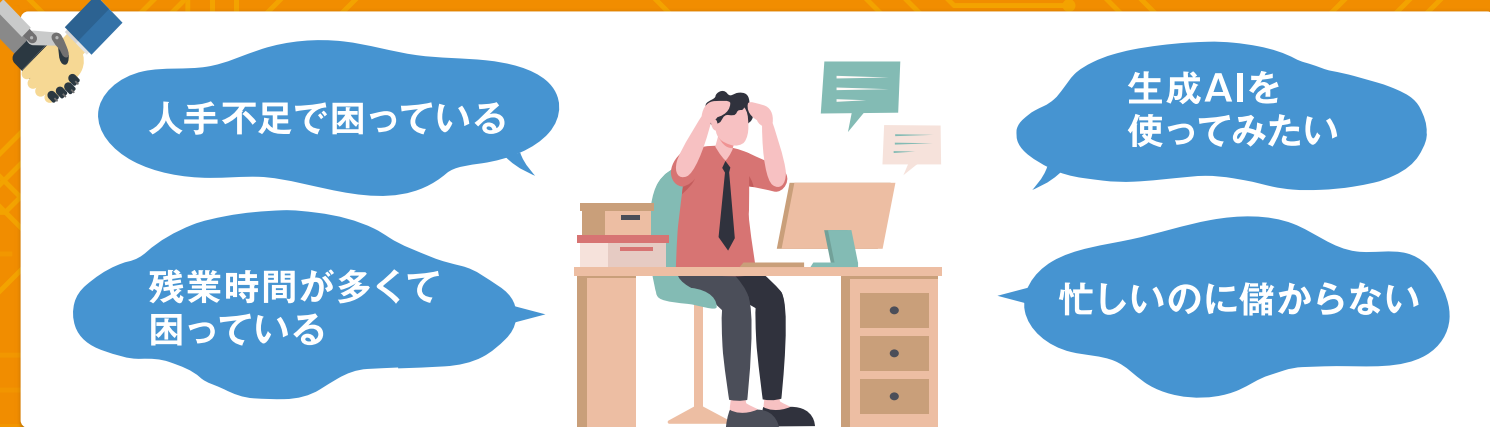
● JR「秋葉原駅」中央改札口徒歩1分
令和6年度5月作成。本紙の内容は予告なく変更する場合がございます。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

東京都サービス生産性革新スクールは、「商業・サービス業」のための生産性向上を目的としたスクールです。

商業・サービス業に特有の「忙しいのに儲からない」・「人手不足」・「属人化」といった悩みに対し、現場改善の基本と生成AIの実務活用が同時に身につくスクールです。「生産性を上げる方法」と「生成AIの使い方」がワークを通じてそのまま実務に活かせる内容になっています。

このような方におすすめです。

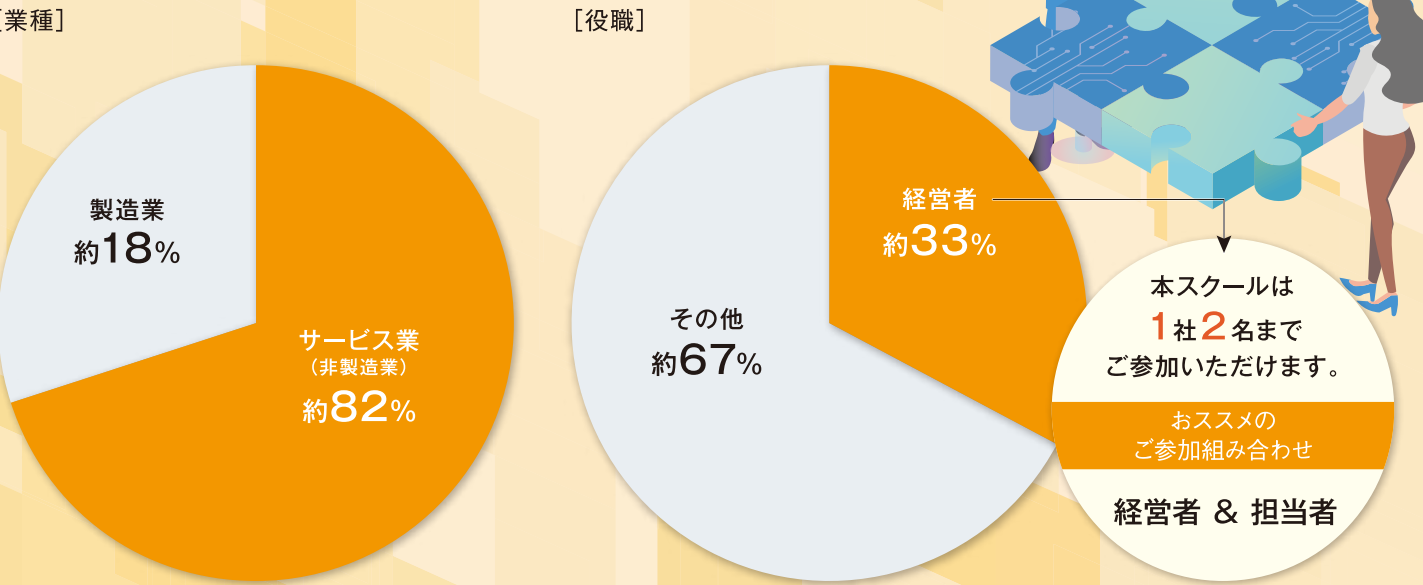


上記のような悩みを解決するためのスクールです。

「学ぶ」「考える」「実践する」のサイクルを通して、自分の会社の課題に気づき、解決方法を明確にします。



このような方にご受講いただいております！



過去の受講者の取り組みテーマ

- 「労働環境の改善・整備」(おしほりレンタル業)
- 「作業の標準化・省力化・自動化」(専門サービス業)
- 「情報共有の効率化/円滑化」(情報通信業)
- 「受注時間を短縮したい」(製造業)
- 「お客様からのクレームゼロを目指す」(専門サービス業)
- 「お得意様をふやしたい」(小売業)

カリキュラム

実施日		受講時間	講義 タイトル	講師	個別支援 実施期間
第1回	8/26(水)	13:30~16:30	生産性の基本理解と価値設計① ～忙しいのに儲からない!? その正体を生成AIで壁打ちをしよう～	岩岡	1回目 2回目
第2回	9/2(水)	13:30~16:30	生産性の基本理解と価値設計② ～お客様は何に喜ぶのか?自社の提供価値をハッキリさせよう～	河野	
第3回	9/7(月)	13:30~16:30	業務プロセスの可視化・標準化① ～その作業は本当に必要ですか?ムリ・ムラ・ムダと属人化を明らかにする～	酒井	3回目
第4回	9/29(火)	10:00~16:30	課題設定発表会 ～自社の付加価値・業務効率化・課題をまとめる～	全員	
第5回	10/8(木)	13:30~16:30	業務プロセスの可視化・標準化② ～“やり方バラバラ”を卒業!標準化で生産性を高めよう!～	酒井・豊島	
第6回	10/14(水)	13:30~16:30	人と組織による生産性向上① ～組織責任を果たすための戦略と計画～	小早川	全5回 (企業別に別途 日程調整)
第7回	10/21(水)	13:30~16:30	人と組織による生産性向上② ～自走する組織のマネージャーとは～	小早川	
第8回	10/28(水)	13:30~16:30	デジタル・生成AIによる生産性高度化 ～“ITは苦手”でもできる!小さなDX×AI省力化～	岩岡	4回目 5回目
第9回	11/11(水)	13:30~16:30	数値管理・収益構造と実践展開 ～改善効果を数字で見える化する! KGI/KPI設計と実践～	豊島	
第10回	11/25(水)	13:30~16:30	先進企業事例パネルディスカッション ～事例企業とディスカッションを通して生産性向上のヒントを得よう～	河野	最終発表会 ～改善計画プレゼンテーション～
第11回	12/8(火)	10:00~16:30	最終発表会 ～改善計画プレゼンテーション～	全員	

※やむをえない事情で欠席される場合は、各講座とも期間限定でオンデマンド視聴も可能です。ただし、出席扱いにはなりません

講師紹介 | 受講者の皆さまへひと言



岩岡 博徳 Hironori Iwaoka
中小企業診断士/
ITコーディネータ

全国の卸小売業、サービス業やバックオフィス向けに、DXによる生産性向上についての支援や研修講師をしています。

業務効率化は現場改善だけでなく、経営そのものから見直す必要があります。一緒にあるべき姿から考えてい



河野 博志 Hiroshi Kono
中小企業診断士/
MBA (経営学修士号)

中小企業支援に携わり、約20年です。人材の定着率改善、人材育成と人事評価の仕組みの構築等を得意としています。人材不足の時代だからこそ、生産性を向上させましょう。

抱えている課題や事情は会社毎・個人毎に異なることをよく理解しているつもりです。一緒に解決していきましょう。



酒井 勇貴 Yuki Sakai
中小企業診断士/
MBA (経営学修士号)

“メーカー研究者・ベンチャーキャピタル・ベンチャー経営陣”という3つの経験を経て、従業員数千人から1万人規模まで、業種業態問わず生産性向上のご支援をしています。

先人達が残してくれた改善手法を学び、目が覚めるような生産性向上を実現しましょう!



小早川 渡 Watari Kobayakawa
中小企業診断士/
ITコーディネータ

ITツールを活用した「しごとのおくみ」作りを行っています。IT企業とパン屋での現場経験も活用し、粗利益への寄与と全体最適を目的とした現場の業務改善を行います。

自社のことは専門家でもわからないものです。失敗も学びになります。スクールで客観的な視点を入れて、まずは試しに改善の第一歩目を踏み出してみよう!




豊島 慎司 Shinji Toyoshima
中小企業診断士/
ITコーディネータ/ITストラテジスト

システムエンジニア及びITコンサルタントとして多岐にわたる業務を経験。現在は中小企業診断士、ITコーディネータとして、多くの企業のIT活用と経営支援に取り組んでいます。


私たちのスクールでは、実際に役立つ技術を身につけることができます。この機会に、新しいステップを踏み出し

受講者からの声



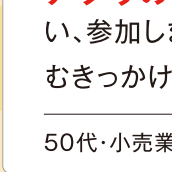
慢性的な人手不足と、属人化して非効率な業務を改善したいと思い、参加しました。受講してみて、「本当に現場が困っていること」を深掘り、分析してから改善することの大切さを認識しました。

40代・運輸業・次長



アプリの有効活用と、受発注業務の効率化、生産管理手法の見直しがしたいと思い、参加しました。受講したことで、これまでやりたくても手を付けられなかったことに取り組みきっかけとなり、あらためて**自身の業務の見える化の重要性を実感**しました。

50代・小売業・代表



個別支援を受けたことで、**チーム全体の意識改革**にもつながりました。他企業の取り組みもたいへん参考になり、成功例だけでなく、**苦勞や失敗談も共有**いただけたことで実践的な学びを得ることができました。

30代・生活関連サービス業・所長